

静岡

市区町村名	木の名前	木の画像	花の名前	花の画像	コメント・備考	入力日
三島市	イチョウ		三島桜		<p>市の木「イチョウ」は、市制30周年を記念し市の花「三島桜」とともに制定されました。現在、教育・文化施設がある文教町のイチョウ並木が代表的であり、街路樹として両側約800メートルにおよび百数十本が空高くそびえ、文教都市三島を象徴しています。</p> <p>市の花「三島桜」は、昭和26年国立遺伝学研究所で染井吉野の起源を知るためのひとつの方法としてその実を集め、第1回目の実生実験をしました。そして、これが成長開花した中に1本の美しい桜を生じました。ときあたかも三島市の新庁舎が竣工したときであったので、これを記念して「三島桜」と命名しました。</p>	2007/10/29
焼津市	松		さつき			2007/10/29
湖西	黒松		くちなし			2007/10/29
掛川市	きんもくせい		ききょう		<p>だいたい色の花をつけ、よい香りを放つ樹木の「きんもくせい」は、市内各所に植えられています。また、市の花「ききょう」は、市章のデザインにも採用されています。</p>	2007/10/30
伊東	つばき		つばき		<p>伊東市では、市の木も花も「つばき」です。昭和42年8月10日に市制施行20周年を記念して、市民から公募を行い、市の花木として「つばき」が制定されました。</p> <p>伊東市の郊外には「小室山つばき園」があります。昭和57年度から整備を始め、その間、市内企業や有志からの寄贈等により、平成15年4月現在15,000平方メートルの敷地に、園芸種を中心に1,000種4,000本のつばきが植栽されており、10月上旬から4月中旬までさまざまな椿が咲きほこります。</p>	2007/10/30
森町	さざんか		ユリ			2007/10/30
浜松市	マツ		ミカン		<p>マツ 海岸部にあってはクロマツ、内陸部にあってはアカマツが多く見られ、市名の一部にもなっている。市内には古木、名木が存在し、これにまつわる伝説が現在も市民に語り継がれている。</p> <p>ミカン 気品あふれる純白の花は、初夏になると一斉に咲き誇り、甘くさわやかな香りを辺り一帯に漂わせる。市の温暖な気候風土を生かして栽培されるみかんは、全国的なブランドとなっている。</p>	2007/11/1
牧之原市	あじさい		茶		<p>「あじさい」ユキノシタ科 市内の公園や道路沿いなどに数多く植えられ、手軽さから一般の家庭でも広く栽培されています。6月から7月にかけてピンクや青紫色など球状の花を咲かせます。一般に花と言われている部分は装飾花で、花びらに見えるものは萼(がく)です。</p> <p>「茶」ツバキ科 ツバキ・サザンカと同じツバキ科の多年生植物で、日本へは奈良時代に中国から伝わっていたと言われてはいますが、一般によく知られているのは鎌倉時代に栄西禅師によって喫茶法とともに中国から伝えられました。この牧之原台地には、明治初年、旧徳川幕府の家臣や川越人足らによって茶樹が植栽され、現在、市内には2,600ヘクタールにも及ぶ広大な茶園が広がり、日本一の茶産地・牧之原市のシンボルとしてふさわしいものです。</p>	2007/11/2

富士市	クスノキ		バラ		<p>市民の木:クスノキ(昭和43年7月制定) 「クスノキ」は、暖地に多く分布し本市にも自生しています。常緑樹のため「緑のまちづくり」に適し、特に新芽は美しいものです。 クスノキは樹高50m、直径2mにも達し、樹令は1,000年を経るものもあります。富士市の限りない発展を象徴するにふさわしいと言えます。</p> <p>市民の花:バラ(昭和43年7月制定) 「バラ」は、わが国はもとより、世界の人々に最も愛されている花であり、国際港のある本市にふさわしい花です。 各家庭においても容易に栽培することができ、花の美しさと親しみやすさは、市民の融和と潤いのある「美しいまちづくり」を進める上で、最もふさわしいと言えます。</p>	2007/11/5
東伊豆町	早咲き桜		いそぶき			2007/11/6
菊川市	茶「チャ」		菊「キク」		<p>茶は、菊川市の特産品。また、菊川市は「深蒸し茶」発祥の地です。菊川市が緑豊かな市に発展するようにとの願いが込められています。</p> <p>菊は、市内を縦断し市の名の由来となった河川「菊川」の頭文字。愛着をもって親しまれる菊川市になるようにとの願いが込められています。</p>	2007/11/26
南伊豆町	ウバメガシ		マーガレット		<p>ウバメガシ 葉はやや厚くて硬く、表面には強い照りがあり、良質の炭で有名な備長炭の原料として知られる。 特に海岸付近の乾燥した斜面にお群落を作るのがよく見かけられ、南伊豆町子浦の松ヶ下に群落がある。 岩角地を好んで生えるウバメガシだが、子浦のような大木の群落は珍しく、1962年(昭和37年)県の天然記念物に指定された。</p> <p>マーガレット 南伊豆から西伊豆にかけて栽培が盛んであり、特に伊浜地区は海に面してマーガレットの段々畑があり、関東・関西方面に出荷している。 町が鑑賞用にと植えたのが、落居口の日和山遊歩道沿いにある町営マーガレット畑で、青い海と波勝崎の岬を背景に真っ白なマーガレットが咲き乱れている。</p>	2007/12/26